

別記様式第1号

「現場の創意工夫プロジェクト」計画書

《プロジェクト名 中山間地における園芸を核とした周年栽培（鮭川村）の確立 》

市町村	鮭川村	対象地域	羽根沢地内	分野	園芸
実施主体名	早坂栄一	代表者氏名		住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	最上郡鮭川村
実施主体構成	個人				

プロジェクト目標（5年後）	産出額（増加額）	4,131千円（2,973千円）					
	独自の目標項目	露地きゅうり15a、アスパラガス30a、うるい40a（促成栽培 130㎡）、水稻270a （現状：露地きゅうり6a、アスパラガス0a、うるい0a、水稻270a）					
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）	
	産出額	1,158千円	1,158千円	2,158千円	2,658千円	3,658千円	4,131千円
	独自の目標項目	276a 水稻270a、きゅうり6a アスパラガス0a、うるい0a	276a 水稻270a、きゅうり6a アスパラガス0a、うるい0a	355a 水稻270a、きゅうり15a アスパラガス30a、うるい40a	355a 水稻270a、きゅうり15a アスパラガス30a、うるい40a	355a 水稻270a、きゅうり15a アスパラガス30a、うるい40a	355a 水稻270a、きゅうり15a アスパラガス30a、うるい40a
プロジェクト概要	◎実施方針	村特産のアスパラガス、きゅうりやうるい栽培に取り組み、周年農業の確立を目指す。					
	○産出額の増大	JA山形もがみの出荷拡大のきゅうり、村特産のアスパラガス、冬期ウルイ栽培を組み合わせた周年農業を行うことで産出額の増大を図る。					
	○雇用の創出	出荷期間にパートの活用を行う。（平成25年雇用人数 0.2人/日）					
	○創意工夫	中山間地、減反地の活用及び村の振興品目を導入しながら規模拡大を図り、鮭川型の周年栽培モデルを確立していく。					
	○実現性	JA山形もがみの戦略品目であるきゅうり、村振興作物であるアスパラガス等、関係機関と連携・支援を受けながら生産振興を図っていく。					
	○地域への波及効果	中山間地、減反地の有効活用モデルとしての波及が見込まれる。					
	○その他	地域における専業農業者としての確立。認定農業者の申請中。					

事業計画		実施年度（平成21年度）	実施年度（平成 年度）
	事業内容	①圃場整備②管理機械の導入③促成栽培ハウスの設置	